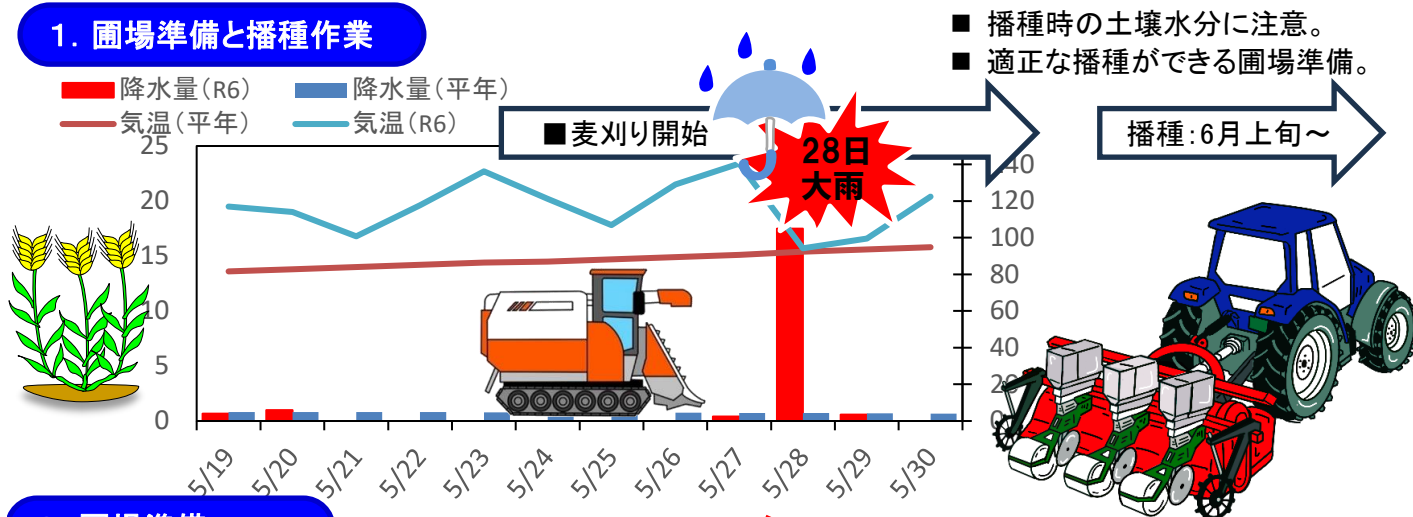


FUKUI DAIZU 情報

福大豆 No.2

麦秋を迎え麦刈り行われています。28日には1日の降水量が約100mmの大雨となりました。麦の収穫後は、大豆の播種に向けて、速やかに圃場準備・排水対策を徹底しましょう。排水対策により苗立ちや初期生育の向上に努めましょう。

1. 圃場準備と播種作業



2. 圃場準備

■ 想定外の降雨に耐える、圃場づくり。
ポイントは表面排水、雨水を速やかに排水させる。

■ 排水対策の徹底

① 既存排水溝の再整備(手直し)

- 表面の雨水除去
- 溝の崩れを直す

排水溝の埋め戻しはしない!

- ② 麦作で施工した溝は潰さない。
- ③ 排水不良は排水溝の追加施工しましょう。



3. 種子消毒のポイント

■ クルーザーMAXXによる種子消毒は、発芽直後から発生する病害虫を防ぐことができます。

【効果】

- ① 殺菌・殺虫効果が約1ヶ月持続
- ② 根部を病原菌から守る
- ③ 苗立ち率や初期生育を改善



■ 種子消毒後の乾燥
塗抹後は種子を十分に乾燥させる

【対象病害虫】

- フタスジヒメハムシ・アブラムシ類
- タネバエ・ネキリムシ類
- 紫斑病・茎疫病・苗立枯病

【使用方法】

- 塗抹処理
乾燥種子1kg当り原液8ml
- 使用回数 1回

